

## 事前評価個表

整理番号	22
------	----

地域（地区）名	<small>ひとつせがわ</small> 一ツ瀬川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	宮崎県	対象市町村	<small>さいとし</small> 西都市ほか6町村
事業実施期間	H29 ～ H33（5年間）	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、宮崎県中央部に位置し、対象民有林は57千ha、うち人工林は25千ha（人工林率44%）となっており、年齢別には、Ⅷ年齢以上の人工林が76%を占めるなど本格的な収穫期を迎えている。資源の循環利用の観点から、木材を収穫しその利用を拡大するとともに、再び植栽する「伐って、使って、すぐ植える」資源循環型林業の確立が重要であり、高齢級の人工林を適切に伐採し再造林することで、「森林の若返り」と年齢構成の平準化を進めていく必要がある。また、主要河川には、九州山地に源を発する一ツ瀬川と小丸川があり、県民の生活に欠かせない水資源の源流部となっている。</p> <p>本地区は、西部地域の大部分を森林が占めており、林業への依存度が高いことから、計画的な伐採と確実な再造林により、将来にわたる木材の利用を維持し、基幹産業である林業の成長産業化を進める。</p> <p>本地区では、一ツ瀬川地域森林計画及び各市町村の森林整備計画に基づき、本地区の自然条件等に応じた様々な樹種から構成されるバランスのとれた年齢構成の森林への誘導を基本に、植栽等の更新作業や間伐等の保育作業、効率的な森林整備を推進するための路網整備をはじめ、森林資源の循環利用と水資源の涵養などの果たすべき役割に応じた適正な森林管理を進めることにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図る。</p> <p>また、成熟した森林資源を有効に活用するため、路網と林業機械を組み合わせた効率的な作業システムを導入するとともに、地域林業の担い手となる人材の育成・確保や川下の木材産業との連携を図り、木材の安定供給体制を確立する。</p> <p>このため、本事業では効率的な施業に不可欠な森林作業道の整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：4,371ha 人工造林、下刈り、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：1,384,258千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 4.16 (総便益(B) = 9,538,079千円、総費用(C) = 2,293,418千円)</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:宮崎県

地域(地区)名:<sup>ひとつ</sup>一ツ瀬川<sup>せがわ</sup>

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	2,363,234	
	流域貯水便益	981,434	
	水質浄化便益	2,117,058	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,454,992	
	土砂崩壊防止便益	6,582	
環境保全便益	炭素固定便益	618,977	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	995,802	
総 便 益 (B)		9,538,079	
総 費 用 (C)		2,293,418	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,538,079}{2,293,418} = 4.16$		

# 森林環境保全整備事業計画 一ツ瀬川地域（宮崎県） 概要図

